

令和5年度岩手県小中学校副校長会 第2回評議員会（オンライン会議）

令和6年2月19日（月）

15:00～16:30

評議員・副会長(遠野・二戸): 所属校

会長・副会長(盛岡・花巻・和賀) 事務局長

事務局次長・各部長・総務副部長:

下橋中学校 第2会議室

司会進行: 事務局次長

記 録: 総務副部長

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 議長選出 一関地区: 渡邊 肇 (弥栄小) 気仙地区: 金野 学 (末崎中)
- 4 報 告 (事務局長、各部長)
 - (1) 令和5年度会務中間報告 (一般・各部)
 - (2) 令和5年度一般会計並びに特別会計歳入歳出中間決算報告
 - (3) 全国教頭会会議報告 (理事会 研究部長会 要請部長会)
 - (4) 東北教頭会会議報告 (理事研修会 研究部長会 事務担当者会)
 - (5) 令和6年能登半島地震お見舞いについて
- 5 議 事
 - (1) 令和5年度会務中間報告 (一般、各部) に関する件
 - (2) 令和5年度一般会計並びに特別会計中間決算報告に関する件
 - (3) 全国教頭会会議に関する件
 - (4) 東北教頭会会議に関する件
 - (5) 令和6年度活動方針 (案) 及び各部活動計画 (案) について
 - (6) 令和6年度以降の研修体制について
 - (7) 令和6年度以降の災害復興支援活動について
 - (8) 令和6年度事業計画 (案) について
 - (9) 令和6年度一般会計並びに特別会計予算 (案) について
 - (10) 令和6年度岩手県小中学校副校長会研究大会について
 - (11) 令和6年度全国大会高知大会について
 - (12) 令和6年度東北大会宮城大会について
 - (13) 令和6年度役員選出について
 - (14) その他
 - ・全公教負担金及び拠出金の変更(案)について
- 6 議長解任
- 7 その他
 - (1) 新年度事務局報告のお願い
 - (2) その他
- 8 閉会のことば

令和5年度岩手県小中学校副校長会 会務中間報告

月	日	行 事 名	備 考
4	18	理事代表者会議①	下橋中学校
5	8 8 16 25～26	理事代表者会議② 理事全体会① 評議員会①地区事務局長合同会議 東北教頭会理事研修会①	サンセール盛岡 サンセール盛岡 サンセール盛岡 郡山市
6	2 5 21	全国教頭会定期総会（代議員） 地区研修担当者会議① 理事代表者会議③	ハイブリッド 下橋中学校 下橋中学校
7	6 7 10 13	全国教頭会要請推進部長会 全国教頭会研究部長会① 第34回学校管理運営研修会（371名） 全国事務担当者会	東京（都市センターホテル） オンライン トーサイクラシックホール岩手 オンライン
8	3～4 31 31	全国研究大会石川大会（44名） 東北地区研究部長会研究協議会 東北地区事務担当者会	金沢市 郡山市 郡山市
9	1 1 8	東北地区研究部長会研究協議会 東北地区事務担当者会 全国教頭会理事会①	郡山市 郡山市 オンライン
10	24	理事代表者会議④	下橋中学校
11	9～10	第43回東北研究大会福島大会（67名）	郡山市
12	1 4 7	全国教頭会研究部長会② 地区研修担当者会議② 全国教頭会理事会②	東京（都市センターホテル） 下橋中学校 ハイブリッド
1	23 25～26	理事代表者会議⑤ 東北教頭会理事研修会②	下橋中学校 福島市
2	9 13 19 19	全国中央研修大会 理事代表者会議⑥ 全国情報担当者会・事務担当者会② 評議員会②	オンライン 下橋中学校 オンライン オンライン
3	1 19 21	全国教頭会理事会③ 会計監査 理事代表者会議⑦	オンライン 下橋中学校 下橋中学校

令和5年度各部活動中間報告

総務部活動報告

【総務担当】

1 地区副校長会との連携について

次の会議・研修会を通して、各地区副校長会との連携を深めながら活動することができた。

- (1) 第1回評議員会及び地区事務局長合同会議は、5月16日（月）参集により実施。第2回評議員会は、2月19日（月）オンラインにより実施予定
- (2) 地区研修担当者会議は、6月5日（月）参集、12月4日（月）参集により実施。
- (3) 第34回学校管理運営研修会は、7月10日（月）参集により実施。

2 全国公立学校教頭会、東北地区教頭会との連携について

次の会議等により、全国及び東北地区教頭との連携を深めることができた。

- (1) 全国定期総会は、6月2日（金）ハイブリッドにより実施。
- (2) 全国要請推進部長会は、7月6日（木）ハイブリッドにより実施。
 - ・ 全体会（全公教調査結果報告・要請文の解説と課題）
 - ・ 講演会（「教師不足、どう改善するか？」日本大学 教授 末富 芳 氏）
 - ・ 分科会（グループ協議）
- (3) 全国研究部長会は、7月7日（金）オンラインにより実施 12月1日（金）ハイブリッドにより実施。
- (4) 全国大会石川大会は、8月3日（木）～4日（金）ハイブリッドにより実施。
- (5) 全国理事会は、9月8日（金）ハイブリッド、12月8日（金）オンラインにより実施。令和6年3月1日（金）ハイブリッドにより実施予定
- (6) 東北理事会は、5月25日（木）～26日（金）、令和6年1月25日（木）～26日（金）参集により実施。
- (7) 東北研究部長会・東北事務担当者会は、8月31日（木）～9月1日（金）参集により実施。

3 教育関係諸機関・校長会等、教育関係諸団体との連携について

- (1) 第34回学校管理運営研修会は、岩手県教育委員会、岩手県市町村教育委員会協議会、日本教育会、日本教育公務員弘済会岩手県支部から、講師の派遣を含む協力を得て運営することができた。
- (2) 小中学校副校長会の活動全般については、岩手県小学校長会、岩手県中学校長会の理解と協力をいただきながら進めることができた。
- (3) 本会役員を日本教育会岩手県支部や公立学校共済組合岩手県支部など教育関係諸団体の役員として派遣したり会議に参加したりして、各団体との連携を図ることができた。

4 調査結果を踏まえた要請活動について

全国教頭会との連携で、7月7日（金）地元選出の国会議員等への要請活動を行うことができた。

- ・ 衆議院議員 立憲民主党 階 猛 氏
- ・ 参議院議員 立憲民主党 横澤 高德 氏の秘書 丸山 亜里 氏
- ・ 衆議院議員 自由民主党 鈴木 俊一 氏の秘書 清川 健二 氏

5 会議等の適正・円滑な支給事務について

事務局の協力を得て、理事会や評議員会など会議や研修会の旅費の適正・円滑な支給事務に努めることができた。

6 今後の課題

今後の教育情勢の変化に対応した要請活動を充実させるため、県教育委員会や県小・中学校長会との連携を図るとともに、各地区副校長会へ教育情勢に関する情報を提供し、共有していくことが大切である。

【調査担当】

1 活動の内容について

「令和5年度 副校長の基本調査」の実施・集計・分析及び報告書の刊行

2 調査の運用状況について

- (1) 回答率は98.5%であった(405名/411名)。前回令和3年度の調査時の回答率(93.4%)を上回った。
- (2) 調査期間を1か月(9月19日~10月20日)設けたが、この期間での回答率は79.8%(328人)であった。その後、10月26日付けで各地区へ再度の調査協力を依頼した。事務局等からの声かけにより、最終的な回答率となったのは12月4日であった。
- (3) 回答データを入力できないとの問い合わせが複数件あった。原因は不明であるが、別の端末から入力してもらう等の対応をとった。
- (4) 基本データから表やグラフを作成する作業については、すべて業者(トーバン印刷)が行い、担当者は業者からのデータ確認の照会に回答するのみとなり、担当者の負担は軽減された。

3 調査結果について

- (1) 個に関すること(勤務校規模、年齢、性別、勤務年数など調査基礎データ)
 - (2) 副校長の職務について
 - (3) 生活等に関すること
 - (4) 健康等に関すること
 - (5) 要望に関すること
 - (6) 震災復興教育に関すること
- 上記の項目について調査結果をまとめる。

4 今後の課題等について

- (1) 各地区に「調査担当」をおき、地区内の会員に声かけをしてもらうと、更にスムーズに回答が得られるものと思われる。
- (2) 調査結果は、今後、全国要請推進部(総務部担当)での討議資料に活用したり、県選出国會議員への要請活動に活用したりして、副校長職の処遇改善を始め本県教育の充実に活用されることを期待したい。

研修部活動報告

1 地区研修・研究活動の充実

(1) 「研究の手引き」の発行

研究活動を円滑に推進し創造的に展開できるようにするためのガイドブックにできるよう、今年度も以下の点に留意し作成するとともに、活用を図ることができた。

- 研究活動を円滑に推進し、創造的に展開できるようにするためのガイドブックとして活用できるようにする。
- 研究推進の概要と計画を掲載する。
- 第13期全国共通研究課題の趣旨、研究の視点及び内容例を一覧で掲載する。
- 原稿作成例や様式等を具体的にわかりやすく示すことで、執筆内容や項目の統一性を図る。

(2) 地区研修担当者会議の開催（第1回：6月5日、第2回：12月4日 ※どちらも参集開催）

今年度の全公教及び県副校長会の研修の方針や重点等について共通理解するとともに、各地区の研修活動の状況について情報交流を深めることを通し、地区研修の在り方について成果や課題を共有することができた。

(3) 各地区の活動状況について

コロナ5類移行後、各地区では必ずしも従来の方式にとらわれることなく、創意工夫を生かしながら研修活動や研究大会等を実施することができた。

☆各地区での研究大会の開催状況

盛岡	11月24日(金)サンセール盛岡 班別研修の発表及び質疑 助言者なし
岩手	11月15日(水)サンセール盛岡 3分科会で発表・協議 助言者あり
紫波	12月1日(金)紫波グリーンホテル 紫波町・矢巾町より発表 校長会より助言者
花巻	12月1日(金)花巻市役所石鳥谷総合支所 3グループでの発表・協議 市校長会会長より助言
和賀	12月8日(金)江釣子地区交流センター 各班の研究発表及び指導助言(市校長会 小・中)
胆江	11月17日(金)常盤地区センター 各部会研究発表 指導助言(胆江地区校長会1名)
一関	11月8日(水)ホテル松の薫 研究発表(1)及び質疑 研究内容紹介(4) 助言市校長会会長
気仙	11月29日(水)陸前高田コミュニティホール プレゼン発表(1)紙面発表(2) 助言者なし
釜石	11月27日(月)釜石中学校 各班の研究報告 助言者なし
遠野	11月15日(水)遠野市浄化センター 各班の研究発表 助言1名(鱒沢小校長)
宮古	11月22日(水)グリーンピア三陸みやこ 2分科会で研究発表・協議 助言者2名
久慈	今年度は開催なし(隔年開催)
二戸	10月31日(火)二戸地区合同庁舎 研究発表及び研究協議 助言者なし

2 「令和5年度研究集録」の刊行(2月発刊予定)

- 各地区副校長会の研修活動について、3C(継続性・協働性・関与性)の視点を明確にしながらまとめることができた。
- 各地区副校長会での実践や研修の内容を具体的に掲載することにより、研究実践が副校長としての資質向上に資することができるような内容構成とすることができた。
- 各地区副校長会での研修の状況を具体的に掲載することで、研修の成果や今後に向けての課題などを会員が共有できるような内容構成とすることができた。

3 「第34回管理運営研修会」の開催

- 令和5年7月10日(月) トーサイクラシックホール岩手大ホールで開催
- 内容…講話(学校管理運営上の諸問題・指導行政の課題)
講演「イラストとデザインにできること」 講師：オガサワラ ユウダイ 氏
- 4年ぶりの開催となったが、多数の会員の参加を得て有意義な会となった。

4 全国大会、東北大会、研修会等への参加

- (1) 第65全国公立学校教頭会研究大会石川大会 8月4日(木)～5日(金) ハイブリッド大会
 - (2) 第43回東北地区小中学校教頭会研究大会(福島県・郡山市) 11月9日(木)～10日(金)
 - (3) 第48回中央研修大会(オンライン大会) 令和6年2月9日(金)
- その他、全国研究部長会、東北地区研究部長会 等

広報部活動報告

1 副校長会報各号の内容について

号数	発行月日	主な内容
223号	7月10日	① 第1回評議員会・地区事務局長合同会議の概要 ・会長挨拶 相原伸裕 ・令和5年度活動方針並びに岩手大会に向けて ② 令和5年度各部活動計画及び事業計画 ③ 県副校長会役員一覧 ④ 各地区役員名簿一覧 ⑤ 令和5年度研修会・研究大会案内
224号	10月20日	① 第34回管理運営研修会 講話1、講話2、講演 ② 第65回全国公立学校教頭会研究大会石川大会報告 ③ 地区副校長会だより 久慈地区 久慈市立長内中学校 宅石茂樹先生 ④ 新任副校長奮闘記 岩手地区 西和賀町立沢内小学校 大川原章郎先生 和賀地区 滝沢市立一本木中学校 伊藤伸先生
225号	2月下旬 発行予定	① 特別寄稿 岩手医科大学附属病院 児童精神科 八木淳子氏 ② 第43回東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会報告 ③ 令和6年度事業計画（予定） ④ 地区副校長会だより 紫波地区 紫波町立紫波第二中学校 西村蘭子先生 ⑤ 新任副校長奮闘記 気仙地区 住田町立世田米小学校 米沢俊哉先生 二戸地区 一戸町立奥中山中学校 千葉和之先生

2 活動反省と今後の課題

- (1) 4年ぶりに開催となった管理運営研修会をはじめ、全国大会・東北大会、特別寄稿等、予定していた内容を概ね掲載することができた。
- (2) 県内各地区の会員の方々に、全国大会・東北大会の各分科会等の様子を紹介いただき、研修の概要や所感等を広く共有することのできるよい機会となった。
- (3) 「地区副校長会だより」、「新任副校長奮闘記」は、好評を得ている企画であることから、今後も掲載を継続していきたい。

令和5年度 歳入歳出中間決算書

1. 収入の部

令和6年2月6日現在

科 目	本年度予算額	本年度中間決算額	比較増減	備 考
1. 会 費	11,919,000	11,919,000	0	29,000円×411名
2. 補 助 金	250,000	250,000	0	教育会、日教弘
3. 繰 越 金	470,804	470,804	0	
4. 研究大会積立金	0	-	0	
5. 雑 収 入	132,000	182,500	△ 50,500	学生協業務委託料、ロゴマークグッズ売り上げ
収 入 計	12,771,804	12,822,304	△ 50,500	

2. 支出の部

科 目	本年度予算額	本年度中間決算額	比較増減	備 考
1. 研究大会費	-	-	0	
2. 研究成果刊行費	540,000	-	540,000	研究集録 - 送料 - 会議費 -
3. 事務費	2,450,000	1,941,314	508,686	職員費 1,373,640 共済積立費 - 通信運搬費 186,134 印刷費 59,400 消耗品費 28,676 コピー使用料 216,532 事務所費 50,000 雑費 26,932

4. 会議費	430,000	239,129	190,871	理事諸会議 評議員・事務局・研修担当 東北理事諸会議 その他	25,562 151,177 30,650 31,740
5. 旅費	1,355,000	1,195,410	159,590	学校管理運営研修会 評議員・事務局・研修担当 理事諸会議 全国大会 東北大会 東北理事会 東北事務担当者会 その他	29,900 211,000 44,700 282,500 297,000 285,440 38,170 6,700
6. 手引き・会報・調査	290,000	262,262	27,738	「副校長会報」発行 「研究の手引」発行 調査研究費	66,000 94,622 101,640
7. 研究推進費	2,746,500	2,766,759	△ 20,259	学校管理運営研修会 大会参加費 全国大会参加補助 東北大会参加補助 中央研修 大会発表補助 地区研究大会祝金	292,859 333,000 725,000 1,259,200 6,700 20,000 130,000
8. 負担金・会費	3,866,200	3,866,200	0	全国教頭会費 東北ブロック負担金 東北大会運営負担金 日本教育会費 日本教育会岩手県支部費 いわて教育の日推進協議会費	1,890,600 30,000 50,000 1,274,100 616,500 5,000
9. 慶弔費	185,000	105,600	79,400	退職記念品 見舞金 その他	105,600 - -
10. 積立	666,500	666,500	0	基金積立 研究大会積立	50,000 616,500
11. 予備費	242,604	-	242,604		
支出合計	12,771,804	11,043,174	△ 1,728,630		

12,822,304 円 - 11,043,174 円 = 1,779,130 円

令和5年度 岩手県小中学校副校長会基金中間決算書

(記念事業・全国・東北大会等)

令和6年2月6日現在

1. 収入の部	1 前年度繰越金	2,085,793円
	2 積立金	50,000円
	3 利息	9円
	A 合計	2,135,802円
2. 支出の部	令和6年能登半島地震見舞金	500,000円
	B 合計	500,000円

3. 収支の部(A-B)
2,135,802円 - 500,000円 = 1,635,802円

※ 能登半島地震見舞金:石川県 30万 富山県・新潟県 各10万
※ 支出予定:令和10年 東北大会100万 令和7年 60周年金事業 50万

令和5年度 運営資金中間決算書

令和6年2月6日現在

1. 収入の部	1 前年度繰越金	1,853,512円
	2 本年度入会金(9,000円×新入会員70名)	630,000円
	3 預金利息	6円
	A 合計	2,483,562円
2. 支出の部	1 全国公立学校教頭会拠出金(6,000円×70名)	420,000円
	B 合計	420,000円

3. 収支の部(A-B)
2,483,518円 - 420,000円 = 2,063,518円

令和5年度 研究大会積立金中間決算書

令和6年2月6日現在

1. 収入の部	1 前年度繰越金	744,063円
	2 積立金 (1,500円×411名)	616,500円
	3 預金利息	3円
	A 合計	1,360,566円
2. 支出の部		0円
	B 合計	0円

3. 収支の部(A-B)
1,360,566円 - 0円 = 1,360,566円



令和5年度 第1回 理事会

司会: 庶務

口議長団: 【議長】 松田 健 理事(沖縄) ・ 小出水 公宏 理事(宮崎)
【九州ブロック】 【記録】 石田 秀二 理事(大分) ・ 千北 昌子 理事(佐賀)
【議事録署名】 安陪 秀樹 理事(福岡小) ・ 小川 幸代 理事(福岡中)

次 第

- 1 開会のことば 副会長
- 2 会長挨拶
- 3 資格確認(会則13条2) 総務調査部長
- 4 議長選出
- 5 報告事項(6/7~9/2)
 - (1) 5年度定期総会報告 吉原会長
 - (2) 全公教活動経過報告 松野副会長
 - (3) ブロック活動経過報告 各ブロック長
 - (4) 専門部活動報告(総務調査部、研究部、広報部) 各専門部長
 - (5) 全国要請推進部長会(7/6)要請活動(7/7)実施報告 総務調査部長
 - (6) 第1回全国研究部長会報告 研究部長

===質疑 令和5年度 これまでの活動について===
- 6 報告・協議事項
 - (1) 全国研究大会について
 - ① 第65回全国公立学校教頭会研究大会石川大会 石川大会実行委員会
・大会開催報告
 - ② 第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会 高知大会実行委員会
・日程等大会概要等

===審議① 全国研究大会について質疑・承認===
 - (2) 令和6年度 全公教活動計画について 松野副会長
 - ①令和6年度 役員等の選出について
 - ②令和6年度 主な会議日程案

===審議② 全公教令和6年度計画案について質疑・承認===
 - (3) その他
 - ①特別委員会設置 松野副会長
・全公教運営検討委員会
・全公教情報化推進委員会
・全公教事務局移転検討委員会
 - ②組織対策について 吉原会長

===質疑 その他案件について===
- 7 議長退任
- 8 連絡事項等
- 9 閉会のことば 副会長

□15:00~16:00 <講演> 進行:庶務
「ゆとりを生み出す学校運営」 講師 余 郷 和 敏 氏
玉川大学 教師教育リサーチセンター 教職サポートルーム 客員教授
(元 全国公立学校教頭会役員・顧問会幹事)

令和5年度 第2回 理事会 次第

司会: 伊藤庶務
村上副会長

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶 吉原会長
- 3 資格確認(会則13条2)について 総務調査部長
- 4 議長団選出 【北海道・四国・関東甲信越ブロック】

議長(2): 照井理事(北海道) ・ 松谷理事(徳島)
記録(2): 大坪理事(高知) ・ 吉田理事(香川)
議事録署名(2): 佐伯理事(愛媛) ・ 石津理事(東京中)
- 5 報告事項(9/11~12/8)
 - (1) 全公教活動経過報告 松野副会長
 - (2) ブロック経過報告 各ブロック長
 - (3) 専門部活動報告(総務・調査部、研究部、広報部) 各専門部長
 - (4) 教育関係23団体全国集会 松野副会長
 - (5) その他
- 6 報告・協議事項
 - (1) 第2回全国研究部長会について (報告) 土井研究部長
 - (2) 令和5年度中央研修大会について (予告) //
 - (3) 全国研究大会について
 - ① 第65回全国公立学校教頭会研究大会石川大会 石川大会実行委員会
・大会集録(案)について (報告)
・引継ぎ打合せ会について (報告) 松野副会長
 - ② 第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会 高知大会実行委員会
・大会開催概要について (報告)
・大会1次案内 (報告)
・大会参加費について (報告)
・全国参加要請数について (確認) 土井研究部長
 - ③ その他 渡辺副会長
・全国研究大会運営要項の一部改訂について (報告)
 - (4) 令和6年度の全公教活動について 松野副会長
・令和6年度の主要行事日程について (確認)
 - (5) 令和6年度役員等の選出について 松野副会長
 - ① 選挙管理委員, 役員候補推薦委員 (承認)
 - ② 役員, 専門部員, 会計監査を選出する単位教頭会・副校長会 (確認)
 - (6) 全公教 特別委員会について 松野副会長
・運営検討委員会 負担金・拠出金について (提案)
 - (7) その他
=== 議長団解任 ===
- 7 連絡事項等
- 8 閉会のことば(15:30) 原田副会長

令和5年度 第1回全国研究部長会

1 期 日 令和5年7月7日(金) 11:00~16:00

2 会 場 各自接続可能な場所

3 出席者	各単位教頭会・副校長会研究部長	52名
	北海道ブロック 6名	東北ブロック 6名
	関東甲信越ブロック 9名	東海北陸ブロック 7名
	近畿ブロック 8名	中国ブロック 4名
	四国ブロック 4名	九州ブロック 8名
	全公教関係 21名	
	合 計	73名

4 内 容 司会(深澤研究部員) ※ 記録(録画 事務局)

(1) 全体会 11:00~11:40

司会(深澤研究部員)

① 開会の言葉(松野副会長)

全公教研究部紹介(名簿による)

② 会長挨拶(吉原会長)

③ 全公教研究部 第13期研究について

研究主題「第13期 未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」(上井研究部長)

④ 第65回石川県大会について(藤谷石川大会研究部長)

(2) ブロック別協議 11:40~12:30

① 今回の研究協議の概要・方法についての説明(奥田研究部員)

・今回の参加者を、地区ブロック別に振り分け、8班編成します。

北海道 (新谷・佐藤・中山・佐藤・佐々木・小中) (全公教:鎌田・野田)

東 北 (青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島) (全公教:渡邊)

関東甲信越(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京中・神奈川中・山梨・新潟)
(全公教:倉金・内野・深澤)

東海・北陸(静岡・富山・石川・福井・愛知・名古屋・岐阜・三重) (全公教:奥田)

近 畿 (滋賀・京都・大阪・兵庫・神戸小・神戸中・奈良・和歌山) (全公教:矢谷・清水)

中 国 (鳥取・島根・岡山・山口) (全公教:城島・原田)

四 国 (香川・徳島・愛媛・高知) (全公教:土井)

九 州 (福岡小・福岡中・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄) (全公教:川上)

・新年度初めての研究部長会です。限られた時間ですが、自己紹介や地域紹介で親交を深めるようにしてください。

② 研究協議

ア 自己紹介・学校紹介・研究部長としての活動 15分程

イ 協議 30分程

(ア) 司会者(全公教太字の人)

(イ) 協議 前年度の課題から:「各学校における管理職としての課題」

③ 班別協議の報告による共有 3班×3分 (奥田研究部員)

・協議後に無作為に抽出した3つの班に発表をお願いします。情報を共有し、各地で広めていただくことがねらいです。(発表者については、各グループ内で決めてください。)

※12:30~13:15 昼食(45分)

(3) 講演・高橋 純先生による講演 13:15~14:20(65分)

講師紹介 川上研究部員

講師 東京学芸大学教授 高橋 純 氏

演題 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた副校長・教頭への期待

※14:20~14:35 休憩(15分)

(4) 研究協議と発表 14:35~15:55 *グループ別協議(資料参照)

① 研究協議方法の説明 (奥田研究部員)

ブレイクアウトルーム設定機能を利用して行います。ランダムに組み合わせられる5~6名で構成される、グループに分かれ協議をお願いします。はじめに15分程、自己紹介・学校紹介を行ってください。

② 研究協議(50分程)

講話から

『「個別最適な学び」』『協働的な学び』を推進していくための学校としての取組と副校長・教頭としての役割』

③ 班別協議の報告による共有 3班×3分 (奥田研究部員)

・協議後に無作為に抽出した3つの班に発表をお願いします。情報を共有し、各地で広めていただくことがねらいです。(発表者については、各グループ内で決めてください。)

④ 高橋先生より、質問・発表をもとに助言 15:40~15:55 (奥田研究部員)

※ 謝辞(渡辺副会長)

(5) 閉会の言葉 15:55~16:00(柳副会長)

振り返りシートへの記入について

アンケートフォーム: <https://forms.gle/PLGrYvmqvMBCDzcf8>



令和5年度 第2回全国研究部長会

1 期 日 令和5年12月1日(金)
2 会 場 都市センターホテル又は各自接続可能な場所

3 出席者
各単位教頭会・副校長会研究部長52名
北海道ブロック 7名 東北ブロック 6名
関東甲信越ブロック 10名 東海北陸ブロック 7名
近畿ブロック 7名 中国ブロック 4名
四国ブロック 4名 九州ブロック 9名
全公教関係 22名
合 計 76名

4 内 容

司会 [深澤 研究部員] 記録 [録画 事務局]

(参集者受付:10:30~)

- (1) 開 会 式・全体会 11:00 ~ 11:50
- ① 開会の言葉 [岸川 副会長] 2分
 - ② あいさつ [吉原 会 長] 5分
 - ③ 午後の協議について [土井 研究部長] 3分
 - ④ 第65回石川大会の成果と課題 [石川県 藤谷 研究部長] 7分
 - ⑤ ブロック大会の成果と課題 各ブロック3分以内 21分
北海道ブロック (北海道 新谷 研究部長)
東北ブロック (福島県 河野 研究部長)
関東甲信越ブロック (東京都 日吉 or 葛城 研究部長)
近畿ブロック (和歌山県 浦木 研究部長)
中国ブロック (島根県 大坂 研究部長)
四国ブロック (徳島県 三宅 研究部長)
九州ブロック (沖縄県 渡慶次 研究部長)
 - ⑥ 第66回高知大会について
研究主題及び日程、内容について [高知県 畠中 研究部長] 5分
参加要請数および特別分科会Iについて [土井 研究部長] 5分
 - ⑦ 中央研修大会について
概要及び参加要請数について [土井 研究部長] 5分
- (3) 昼 食 11:55 ~ 13:00
(4) 講 演 13:00 ~ 14:10
講師紹介 [川上 研究部員]

・講 師 春日井市教育研究所 教育DX推進専門官 水谷 年孝 氏
・演 題 「1人1台端末+クラウド環境の日常的な活用による主体的な学びの
実現と校務・研修改善」
質疑応答
謝 辞 [渡辺 副会長]

～休 憩～

指定された会場(701)へ移動後、14:20~協議開始

(5) 研究協議 14:20 ~ 15:20 (グループ協議)

① グループ協議 14:20 ~ 15:20

※研究部が全体司会をし、記録者を決めてから協議を行う。

視点:「1人1台端末及びクラウド環境の日常的な活用による学校改善への
取り組みと副校長・教頭の役割について」

～休 憩 10分～

全体会会場へ移動後、15:30~協議の発表開始

② 協議内容発表(参集2・オンライン2 各3分) 15:30~15:45

③ 水谷先生による助言 15:45~16:00

(6) 閉会式 16:00~16:05

① 終わりの言葉 [柳 副会長]

② 事務連絡等

・第2回全国研究部長会の振り返りシート of 記入のお願い(Google アンケート)

<https://forms.gle/7AXY581Av9kDYKW96>



※12月8日までに回答をお願いいたします。



令和4年度 全国要請推進部長会

次第

1 日時 令和4年7月7日(木) 10:00~16:30
(ZOOMは9:30 から接続可能)

2 内容等

(1) 開会行事 (10:00)

- ① 開会の言葉 副会長 加曾利 道人
- ② 会長あいさつ 会長 漆崎 英二

(2) 講演会 (10:30~12:00)

- ① 講師紹介 副会長 神山 聡
- ② ご講演 演題 「深刻化する教育課題に副校長・教頭はどう動いていくか」
～教員不足、働き方改革の停滞、家庭との関係づくり～
講師 妹尾 昌俊(せのお まさとし) 様
(教育研究者、合同会社ライフ&ワーク 代表
NPO法人まちと学校の未来 理事
学校業務改善アドバイザー)

～ 昼 休 憩 (12:00~13:00) ～

(3) 全体会 (13:00)

- ① 全公教調査結果報告 総務・調査部 小栗 克樹
- ② 要請文の解説と課題 副会長 神山 聡

(4) 分科会 (13:45~16:15)

- ① グループ協議の進め方説明 総務・調査部長 堀江 哲也
- ② グループ協議 グループ内で進行、発表者を互選
- ③ グループ協議の発表 各グループの発表者

(5) 閉会行事 (16:15)

- ① 諸連絡
- ② 閉会の言葉 副会長 岡村 賢一

閉 会 16:30 (予定)

※全国要請推進部長会終了後、

アンケートへのご記入をお願いします。

<https://forms.gle/i69jvx7iAruoc1S26>



令和5年7月7日

全国要請部長会要請活動報告

4	茨城県	上ノ内 正明 (要請部長)	上宮 正人 (茨城県会長) 柴 耕己 (茨城県副会長) 吉原 勇 (全公教会長) 松野 博文 (全公教副会長)	文部科学大臣 永岡 桂子	文部科学省大臣室	<p>「働き方改革制度の推進」については、一側としてスクールサポートスタッフの配置によりその活用が進んでいることと思う。働き方改革は中教務等でさらに協議を深め、業務の3分割について見直しをかけていく。</p> <p>・教頭業務は業務である事を十分に理解している。例えば、休日における学校の備前などにも参加するような状況を見ると、必要なことなのか疑問を持つ。今回要請いただいた内容については、各方面と協議・調整を進めていければと思っている。</p>	<p>インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、特別支援学級在籍児童生徒数を交流学級の人数に含めた35人学級の実現については中教務に引き続き投げかけていく。本来、特別支援学級はその学級で一日を学習するところで、交流学校へ行く時間は短らされている。連絡指導員は、普通学級の児童生徒が学校のため、要請内容とは異質と思われる。各市町村教育委員会において、教育支援員やサポートスタッフ等の配置拡大の自前もお願いしていきたい。</p> <p>今回は茨城県の要請活動として県会長・副会長の他、全公教会長・副会長の同行があった。大臣との面談は、終始歓迎ムードと和やかな会合であった。予定では15分とされていたが、大臣の考えで参加者全員からの声が届きたいとスピーチローテーションをさせた。ただ全体で30分ほど行った。とにかく学校が疲弊している事には、心から申し訳ないという姿勢で対応いただいた。今回は茨城選出の大臣ということもあり、短い時間ながらも前向きな対応をいただいた。</p>
5	岩手県	細田 多聞 (総務部長)	なし	衆議院議員 立憲民主党 階 猛	衆議院 第二議員会館 203号室 衆議院議員 階 猛	<p>要請事項について、岩手県や所属校の現状を踏まえながら説明を行った。教員業務支援員やコミュニティ・スクールなどに関する議員からの質問に答えながら、議員には要請事項に対し理解を示していただいた。現在、学校と家庭や地域との隔わりについて、注目しているとの意向を確認することができた。</p>	<p>今回の要請活動は、自分自身にとって貴重な経験となりました。今後も粘り強く継続していくことが重要であると感じました。</p>
				衆議院議員 立憲民主党 横溝 高徳	衆議院議員会館 702号室 秘書 丸山 亜里	<p>要請事項について、岩手県や所属校の現状を踏まえながら説明を行った。秘書の方には要請事項の必要性について理解いただくことができた。議員が職務不自由であることから、特別支援教育やインクルーシブ教育の分野からの働きかけについて前向きであることを確認することができた。</p>	
				衆議院議員 自由民主党 鈴木 俊一	衆議院 第一議員会館 1001号室秘書 清川 健二 氏	<p>要請事項について、岩手県や所属校の現状を踏まえながら説明を行った。秘書の方には要請事項を概ね理解いただいたながらも、義務教育費国庫負担制度に匹敵する負担率2分の1への復元や教員基本数の確保などについて、現状をさらに精査し、その必要性を明らかにしていくことが必要との意見をいただいた。</p>	

第1回理事研修会要項

期日：令和5年5月25日（木）
 研修会：14：00～16：00
 会場：ビッググアイ 7階
 進行：福島県 幹事
 記録：福島県 幹事

【 次 第 】

- 1 開会のことば 副会長：岩手県会長
- 2 会長あいさつ
- 3 自己紹介（宮城→山形→秋田→青森→岩手→福島）
- 4 研究協議 議 長：福島県幹事
 - (1) 理事会関係事項
 - ① 令和5年度役員と会則等について
 - ② 令和5年度事業計画（案）について
 - ③ 東北地区小中学校教頭会諸確認事項について
・全国大会、東北大会の割当てについて
 - ④ その他
 - (2) 研修関係事項
 - ① 第32回福島県公立小・中学校教頭会研究大会郡山大会
第43回東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会
 - ② 第49回宮城県公立小中学校教頭会研大会宛仙台大
第44回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会について
- 5 各県教頭会・副校長会の情報交換（自己紹介の順）
- 6 その他
- 7 諸連絡
- 8 閉会のことば 副会長：宮城県会長

第2回理事研修会要項

期 日：令和6年1月25日（木）～26日（金）
 会 議：14：00～16：00
 場 所：花月ハイランドホテル
 2F コンベンションホール 樹林

進行：清野 正志
 記録：丹治 豊一郎

【 次 第 】

- 1 開会のことば 相原 東北副会長(岩手県)
- 2 会長あいさつ 村上会長
- 3 自己紹介（宮城→山形→秋田→青森→岩手→福島）
- 4 研究協議 議長：大竹副会長
 - (1) 研修関係事項
 - ① 第43回東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会
第32回福島県公立小・中学校教頭会研究大会実施報告 村上会長
 - ② 第44回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会について 宮城県
 - ③ その他
 - (2) 理事会関係事項
 - ① 令和5年度事業・会計報告 福島県事務局
 - ② 全国ブロック長会報告 村上会長
 - ③ 令和5年度東北地区研究部長会実施報告 渡邊研究副部長
 - ④ 令和6年度事業計画(案)について 宮城県
 - ⑤ 東北地区小中学校教頭会諸確認事項について 村上会長
 - ⑥ 第13期東北地区研究大会提言分担について 河野研究部長
 - ⑦ 令和6年度以降の全公教頭会研究部員の選出について 河野研究部長
 - ⑧ 令和6年度全国公立学校教頭会議長等役割分担について 村上会長
 - ⑨ その他
- 5 情報交換
 - (1) 各県教頭会・副校長会の情報交換 進行：齋藤 弘樹
 - (2) その他
- 6 諸連絡 佐々木 和典
- 7 閉会のことば 村上 東北副会長(福島県)
- 8 感謝状贈呈 村上会長

令和5年度東北地区小中学校教頭会
研究部長研修会 開催要項

期 日：令和5年8月31日(木)
研究協議会：14:00～17:00

令和5年度 東北地区小中学校教頭会
【事務担当者会】

令和5年8月31日(木) 14:00 16:00

【次 第】

進行：福島県研究副部長 渡邊 知幸
記録：郡山市研究副部長 鈴木 文昌

***** 次 第 *****

- 1 開会のことば 福島県研究副部長 渡邊 知幸
- 2 あいさつ 福島県研究部長 河野 英明
- 3 自己紹介 (宮城→山形→秋田→青森→岩手→福島)
- 4 研究協議
 - (1) 令和6年度以降の東北地区研究大会・提言割当について 福島県研究部長 河野 英明
 - (2) 令和5年度東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会について 郡山市研究部長 関根 豊
 - (3) 令和6年度全国公立学校教頭会研究大会宮城大会について 宮城県研究部長 濱木 健
- 5 各県教頭会・副校長会の情報交換 (宮城→山形→秋田→青森→岩手→福島)
- 6 次年度以降の研究部長会の持ち方について 福島県研究部長 河野 英明
- 7 諸連絡
- 8 閉会のことば 郡山市研究副部長 鈴木 文昌

- 1 あいさつ
- 2 協 議
 - (1) 令和5年度 東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会について
 - (2) 令和6年度 東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会について
 - (3) 80,000円の負担金について等
 - (4) 情報交換並びに東北地区教頭会確認事項について

★ 18:15 懇親会 ★

★ 懇親会 18:15～ 和餐 ★

令和6年1月12日

石川県公立小中学校教頭会 様
富山県公立小中学校教頭会 様
新潟県小中学校教頭会

岩手県小中学校副校長会
会長 相原伸裕

震災のお見舞い

この度の令和6年能登半島地震に際し、心よりお見舞い申し上げます。

甚大な被害の中、学校自体が地震・津波により被害にあわれたり、先生方ご自身も被災されたりと大変な状況と推察いたします。また、学校が避難所となり、その受け入れを担当している先生方が、さらなるご苦勞を重ねておられること想像に難くありません。

まだ余震が続く先の見えない状況の中、通常の生活に戻るまでにはかなりの時間を要すると思われるますが、被災された皆様方の安心で安全な生活が早く訪れますよう心よりお祈り申し上げます。

13年前の震災では、あまりの被害に呆然としている中、全国の皆様から多くのお見舞いの言葉やご支援をいただきました。その温かいお心遣い、励ましにどれほど力をいただいたかわかりません。おかげさまで時間がかかりましたが何とか復興へと進むことができましたと感謝しております。

その思いを胸に、少しでも皆様の復興のお役に立てればと考え、些少ではございますがお見舞金を送金させていただきます。ご活用いただければ幸いです。

また、他に何かお力になれることがあれば会として取り組みたいと思っておりますので、ご要望等お知らせください。

ますます寒さが厳しくなる時期、心身共にお疲れがたまり、休息も十分にとれない状況とは存じますが、くれぐれもご自愛くださいますよう。皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

新潟県小中学校教頭会 令和6年1月15日

心温まるご配慮、ありがとうございます。

富山県公立小中学校教頭会 令和6年1月15日

この度の能登半島地震に際しましては、早々にお見舞いをいただき心よりお礼申し上げます。

富山県内においても、これまでに経験したことのない揺れにみまわれました。石川県能登地方に隣接する本県市町においては家屋の倒壊、道路の亀裂や断水等が見られ、未だに復旧していないところもありますが、県内の多くは現在日常を取り戻し、学校も3学期の始業式を迎えることができております。(被災地域も1日遅れで始業式を実施)ただ、子供たちをはじめ我々大人も、余震があるたび不安と恐怖を感じているのも現状です。そのような中、温かいお言葉をいただきましたこと大変嬉しく、感謝申し上げます。

本当にありがとうございます。

石川県公立小中学校教頭会 令和6年1月12日

お見舞いのお言葉、ありがとうございます。

石川大会の折にも、岩手の方々にはお世話になりっぱなしで感謝しかありません。

ここ事務局は金沢にあり、

学校や先生等の現状はまだまだつかめていない状況です。

・珠洲市では小中学校11校の内、3校で学校再開

(避難所にはなったまま)

・珠洲市小学校のグラウンドに仮設住宅建設予定

・輪島市では中学生の県南部への集団避難計画

※1月15日お見舞い金を三県へ振込みました。

令和6年1月22日

岩手県小中学校副校長会
会長 相原 伸裕 様

石川県公立小中学校教頭会
会長 大宮 弘太

令和6年能登半島地震のお見舞いお礼

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、令和6年能登半島地震に際し、励ましとご支援に感謝いたしますとともに厚くお礼申し上げます。お預かりしました真心は被災されました関係各所へしっかりと届けさせていただきます。

今回の震災により珠洲市・輪島市等の中学校では県南部への集団避難が始まりましたが、能登の多くの学校は現在も避難所になっており、水道の普及の長期化も見込まれ、未だ完全再開の目途がたっていない状況です。家族・同級生をなくされた方、自宅や学校が甚大な被害を受けた方、児童生徒はもちろん教職員の心のケアも必要と考えます。

余震が続きライフラインも復旧していない中、日常を取り戻すのは難しいですが、いただきましたご厚意を力に変え、一日も早い復興に尽力してまいります。

今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の益々の御健勝とご発展をお祈りいたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

謹白

令和6年2月8日

岩手県小中学校副校長会
会長 相原 伸裕 様

富山県公立小中学校教頭会
会長 山岸 朋子

令和6年2月吉日

震災お見舞いの御礼

立春の候 貴台にはますますご清祥のことと存じます。

さて、この度は、令和6年能登半島地震での被災に対しまして、多くのお見舞い金と温かいお言葉を賜り、深く感謝申し上げます。

富山県は、毎日のように報道されている石川県能登地方ほどではありませんが、様々なところに被害がありました。まずは、これまで感じたことのない大きな揺れ、その後も頻繁に発生する余震に、強い恐怖を感じました。私が勤務する富山市は、県内でも被害が比較的少なかった地域ではありますが、それでも、校舎や駐車場に亀裂が入ったり、水道管が破損したりしました。富山県で一番大きな被害があった氷見市では、教室棟が損壊するなどした学校があったため、市内全ての小中学校の始業式を1日遅れで行いました。また、教頭としては、勤務校が避難所となり、その対応に追われました。職員や児童の安否確認も行いました。どれも幸いにも大過なく終えることができましたが、教頭として、非常時における対応力の大切さを痛感した日々でした。そして、いろいろなことが一段落すると、東日本大震災で被災された方々への思いが、改めて強くなりました。当時は、我々の経験とは比べものにならないほどのご苦勞があったことと推察します。

この震災では、災害は、いつ、どこで発生するか分からないこと、発生した場合の被害を少なくするため、日頃の備えが必要であること、そして、日本中に互いを思いやれる仲間がいることを再認識しました。いただいたお見舞い金は、被害の大きかった氷見市を中心に、大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

立春が過ぎたとはいえ、まだまだ寒い日が続きます。年度末に向けてご多忙のことと存じますが、くれぐれもご自愛ください。

各单位教頭会・副校長会長様

全国公立学校教頭会
会長 吉原 勇

令和6年能登半島地震 災害支援義援金 募集のお知らせ

新年早々の1月1日16時10分頃、石川県能登地方を中心に最大震度7の津波を伴った「令和6年能登半島地震」が発生いたしました。

日を追うごとに報道による現地の様子が伝わっており、その被害の甚大さに驚き、心痛めているところです。

震災によってお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すると共に、関係者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

未だ詳細な情報は得られておりませんが、学校関係の被害も大きなものがあるのではないかと推察いたします。また、学校教職員は被災しながらも、避難所運営や児童生徒の対応に日々追われていることと思います。くれぐれもご自身の体をご自愛しながら業務にあたってくださいことを願うばかりです。

全国公立学校教頭会では災害支援活動として、単位教頭会・副校長会からの「災害支援義援金」を募り、甚大な被害にあわれた学校、副校長・教頭先生に対してお見舞いと励ましの気持ちを届けたいと思います。

ご賛同いただける教頭会・副校長会におかれましては、以下の全公教「災害支援義援金」口座への送金をお願いいたします。

同じ仲間である被災された副校長・教頭先生が少しでも励まされ、元気が出るよう、私たちの気持ちが届けばと思います。

記

【義援金の振り込み先】

- <取扱金融機関>： 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店（普通預金）
- <口座名>： 災害支援義援金
全国公立学校教頭会会長 吉原 勇（よしはらいさむ）
- <口座番号>： 0231982
- <募金期間>： 令和6年3月31日（令和5年度で一旦締め切ります）
- <その他>
- ① 振込手数料は各单位教頭会・副校長会でご負担願います。
 - ② 義援金に対する領収書の発行は行いません。
 - ③ 送金後、全公教事務局へメール連絡をお願いします。

問合せ先 全国公立学校教頭会事務局
TEL03-3436-4868

令和6年度活動方針並びに活動内容（案）

1 活動方針

- (1) 学校教育の果たすべき役割と学校教育を取り巻く今日的課題を認識し、常に研修に努めるとともに、全国、東北地区教頭研究大会及び各種研修会に参加し、副校長としての資質の向上を図る。
- (2) 全国公立学校教頭会、東北地区教頭会との情報交換・連携及び諸調査の実施により、職務推進上の課題を明確にし、教育関係諸機関・教育団体の連携・協力を図り、教育諸条件の改善並びに副校長の処遇等の改善をめざす。
- (3) 被災した地域の教頭会への支援を行う。
- (4) 岩手県小中学校副校長会の組織及び機能を強化し、会員相互の連携を深め、副校長会の充実・発展に努める。

2 活動内容

(1) 総務部

(総務担当)

- ア 地区小中学校副校長会との連携を深める。
- イ 全国公立学校教頭会、東北地区教頭会との連携を深める。
- ウ 教育関係諸機関・校長会等、教育諸団体との連携を深める。
- エ 調査結果を踏まえ、要請活動を行う。
- オ 会議旅費等の支給事務を適正・円滑に行う。

(調査担当)

- ア 「令和5年度岩手県小中学校副校長会の基本調査」の結果を分析し「令和6年度第48回岩手県小中学校副校長会研究大会」第6分科会の企画を行う。
- イ 調査結果を分析し、会員の健康維持、処遇改善に向け、要請活動の基礎資料を作成する。
- ウ 全国公立学校教頭会が実施する諸調査に協力する。

(2) 研修部

- ア 地区研修・研究活動の充実を図る。
- イ 「第48回岩手県小中学校副校長会研究大会」を開催する。
- ウ 「第48回岩手県小中学校副校長会研究集録」を発刊する。
- エ 「第35回学校管理運営研修会」を開催する。
- オ 「第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会」に参加する。
- カ 「第44回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会」に参加する。
- キ 「第48回中央研修大会」に参加する。

(3) 広報部

- ア 岩手県小中学校副校長会会報を発行する。(年間3回)
- イ その他、諸情報の収集・整理を行う。

(4) その他

- ア 国内における復興の現状を捉え、必要な支援を行う。
- イ 全国及び東北教頭会の場で復興の状況や支援について情報を収集・提供する。

総務部活動計画（案）

【総務担当】

1 地区副校長会との連携について

次の大会・会議・研修会を通し、各地区副校長会との連携を深める。

- (1) 評議員会は、5月21日（火）は参集（地区事務局長会議を含む）、2月17日（月）はオンラインにより実施予定。
- (2) 地区研修担当者会議は、6月10日（月）、12月9日（月）参集により実施予定。
- (3) 第35回学校管理運営研修会は、7月1日（月）参集により実施予定。
- (4) 第48回岩手県小中学校副校長会研究大会は、11月28日（木）～29日（金）参集により実施予定。

2 全国公立学校教頭会、東北地区教頭会との連携について

次の会議・研修会を通し、全国及び東北地区教頭会との連携を深める。

- (1) 全国定期総会は、6月7日（金）ハイブリッドにより実施予定。
- (2) 全国研究大会高知大会は、7月31日（水）～8月1日（木）ハイブリッドにより実施予定。
- (3) 全国理事会は、9月6日（金）はハイブリッド、12月13日（金）オンライン、3月7日（金）ハイブリッドにより実施予定。
- (4) 全国要請担当者研修会は、7月12日（金）オンライン、全国要請推進部長会は、9月26日（木）ハイブリッドにより実施予定。
- (5) 全国研究部長会は、7月5日（金）オンライン、12月6日（金）ハイブリッドにより実施予定。
- (6) 東北理事研修会は、5月30日（木）～31日（金）、1月23日（木）～24日（金）参集により実施予定。
- (7) 東北研究部長会・東北事務担当者会は、9月12日（木）～13日（金）、参集により実施予定。
- (8) 第44回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会は、11月14日（木）オンラインにより実施予定。

3 教育関係諸機関・校長会等、教育関係諸団体との連携について

- (1) 第35回学校管理運営研修会の開催にあたっては、岩手県教育委員会及び市町村教育委員会協議会への講師派遣を含む協力を依頼する。
- (2) 第48回岩手県小中学校副校長会研究大会の開催にあたっては、岩手県教育委員会及び市町村教育委員会協議会の教育関係諸機関、日本教育会岩手県支部、日本教育公務員弘済会岩手支部等の教育関係諸団体及び岩手県小中学校長会から、助言者の派遣等を含む協力を依頼する。
- (3) 小中学校副校長会の活動全般について、岩手県小学校長会、岩手県中学校長会の理解と協力をいただき、必要に応じて指導・助言を依頼する。
- (4) 本会役員を日本教育会岩手県支部や公立学校共済組合岩手県支部など教育関係諸団体の役員として派遣したり会議に参加したりして、各団体との連携を図る。

4 調査結果を踏まえた要請活動について

- (1) 全国教頭会との連携で、地元選出の国会議員への要請活動を行う。
- (2) 「副校長の基本調査」をもとに、政局の様子や県内会員の実態を的確に把握し、全国及び岩手県教育委員会教職員課・学校教育室への要請活動に生かしていく。

5 会議等の適正・円滑な支給事務について

- (1) 事務局の協力を得て、各地区副校長会へ教育情報を提供し、会議等の適正・円滑な支給事務に努める。
- (2) 各地区からの会費納入は、早期に行われるよう、各地区事務局との連絡を密にしながら進める。

【調査担当】

1 令和5年度「副校長の基本調査」の結果分析と活用について

(1) 結果分析の視点

- ア 令和5年度「副校長の基本調査」結果から見える課題は何か
- イ 本県副校長の職務環境の改善に向けた具体的対応策は何か
- ウ 国の文教政策の要請活動につなげる提言内容は何か

(2) 結果分析の計画

- 5月 第1回結果分析検討会
- 6月 総務部全国要請活動基礎資料の作成
- 8月 全公教研究大会高知大会第6分科会参加
- 9月 総務部全国要請活動
- 9月 第2回結果分析検討会
(第48回岩手県研究大会第6分科会提案内容作成)
- 10月 第3回結果分析検討会(研究大会準備会)
(第48回岩手県研究大会第6分科会運営案作成)
- 11月 第48回岩手県研究大会第6分科会提案
- 1月 結果分析のまとめと次回基本調査への申し送り

2 総務部要請活動の基礎資料作成について

調査結果を分析し、会員の健康保持・処遇改善のために要請が必要な事項を精選並びに明確化して基礎資料を作成する。

全国要請文に加え、本県独自の課題について提示し、要請活動に反映させる。

3 全国公立学校教頭会が実施する諸調査への協力について

全国教頭会からの依頼に基づき、迅速に諸調査へ協力する。

4 令和7年度「副校長の基本調査」の内容検討

次回基本調査に向けた調査項目、調査方法等の見直しと検討を行う。

【「副校長の基本調査」の基本的な流れ】

令和 5年 9～10月 「副校長の基本調査」実施



令和 6年 2月 基本調査冊子配布並びに全国調査冊子配布



令和 6年 9月 全国要請活動実施



令和 6年 11月 県大会第6分科会で報告並びに研究協議に活用



令和 7年 9月 「副校長の基本調査」実施



研修部活動計画(案)

1 地区研修・研究活動の充実

(1) 「研究の手引き」の発行

- ア 研究活動を円滑に推進し、創造的に展開できるようにするためのガイドブックとして活用できるようにする。
- イ 研究推進の概要と計画を掲載する。
- ウ 第13期全国共通研究課題の趣旨、研究の視点及び内容例を一覧で掲載する。
- エ 原稿作成例や様式等を具体的にわかりやすく示すことで、執筆内容や項目の統一性を図る。

(2) 地区研修担当者会議の開催（第1回：6月10日、第2回：12月9日）

- ア 岩手県小中学校副校長会の研究活動について共同推進するため、共通理解を深める。
- イ 各地区研究・研修の効率的推進を図るとともに、各地区の取組を交流する機会とする。

2 研究集録の発行

(1) 編集方針

- ア 研究方針3C（年次計画により組織的、継続的に積み上げられた研究＝継続性 continuity、協働実現により練り上げられた研究＝協働性 collaboration、副校長の関わりが明らかな研究＝関与性 commitment）の視点が明確となるような内容となるよう努める。
- イ 全国統一研究主題や共通研究課題、研究重点等を踏まえ、副校長としての資質向上に資する内容となるよう努める。

(2) 内容

- ア 全国共通研究課題に基づく研究実践の内容及び成果と課題（各地区の提言分担による紙上発表）
- イ 各地区副校長会の研修の取組等（地区研修のあゆみ）
- ウ その他、令和6年度の研修活動等について

3 「第35回学校管理運営研修会」の開催

- (1) 期日：令和6年7月1日（月）
- (2) 会場：トーサイクラシックホール岩手 中ホール
- (3) 内容：学校管理運営上の諸問題及び指導行政上の課題等についての講話、副校長として職務や資質向上に関わる講演等

4 「第48回岩手県小中学校副校長会研究大会」の開催

- (1) 期日：令和6年11月28日（木）～29日（金）
- (2) 会場：トーサイクラシックホール岩手 大ホール、いわて県民情報交流センター・アイーナ（分科会）
サンセール盛岡（レセプション、分科会）
- (3) 内容 【1日目】全体会（開会行事・基調提案・記念講演・パネルディスカッション・分科会打合せ）
【2日目】分科会（研究発表・協議・助言・閉会行事）

5 全国大会、東北大会、研修会等への参加

- (1) 第66全国公立学校教頭会研究大会高知大会 7月31日（水）～8月1日（木）ハイブリッド大会
- (2) 第44回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会 11月14日（木）オンライン大会
※盛岡地区（第3課題）より提言発表あり
- (3) 第49回中央研修大会（オンライン大会） 令和7年2月7日（金）
その他、全国研究部長会、東北地区研究部長会 等